

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局): 清流の国推進部

【9月分】

課(室): スポーツ推進課

その1

担当者: 津田行代 (内線)2955

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第83回日本学生陸上競技対校選手権大会					
女子10,000m競歩		1位	H26.9.5	五藤 怜奈 (中部学院大1年)	五藤は2位と23秒89の差をつけて、47分19秒04で見事優勝を果たした。 (埼玉県熊谷市:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)
男子走幅跳		3位	H26.9.6	松原 瑞貴 (岐阜経済大4年)	松原は2回目に7m69を記録し、3位となった。 (同上)
第68回国民体育大会					
カヌー	成年男子ワイルドウォーター・カヤックシングル1500m	1位	H26.9.11	渡辺 正浩 (八百津高教員)	渡辺は1500mを4分46秒53で制し見事7連覇を達成、スプリントでは惜しくも0.63秒差で敗れ2位となった。 (熊本県人吉市:球磨川特設カヌー競技場)
	成年男子ワイルドウォーター・カヤックシングルスプリント	2位	H26.9.12		
	成年女子スラローム・カヤックシングル(15ゲート)	2位	H26.9.14	海淵 萌 (トヨタカローラ岐阜)	海淵は1本目で3位につけ、2本目をノーミスで107.07点を記録し2位となった。 (同上)
水泳(競泳)	成年男子100m自由形	1位	H26.9.13	小長谷 研二 (コパンSS)	小長谷は決勝で終始トップを守り抜いて、自己ベストタイの48秒99で見事優勝を果たした。 (長崎県長崎市:長崎市民総合プール)
	少年男子A 400m自由形	1位	H26.9.14	井上 奨真 (県岐阜商業高3年)	井上は予選を2位で通過し、決勝では終始トップを独走し3分54秒43で見事優勝を果たした。 (同上)
	成年男子200mリレー	3位	H26.9.13	岐阜選抜 (原, 小西, 川合, 小長谷)	岐阜選抜は予選を2位で通過し、決勝では1分30秒60を記録し3位となった。 (同上)
卓球ワールドツアー2014 フランダース(ベルギー)オープン					
女子シングルス		3位	H26.9.13	加藤 杏華 (県岐阜商業高3年)	加藤杏は年齢制限なし、21歳以下のトーナメント戦で、ともに準決勝で優勝した選手に敗れ3位となった。 (ベルギー/デハーン)
女子アンダー21シングルス		3位	H26.9.13		
女子アンダー21シングルス		3位	H26.9.13	加藤 知秋 (十六銀行)	加藤知は48名が出場したトーナメント戦に第6シードとして臨み、準決勝で惜しくも敗れ3位となった。 (同上)
第92回全日本ボート選手権大会 男子シングルスカル		2位	H26.9.14	今井 祐樹 (中部電力)	今井は予選、準決勝を組1位で勝ち上がったが、決勝は1位と1秒81差の7分18秒24で2位となった。 (埼玉県戸田市/戸田ボートコース)
平成26年度日本カヌースプリント選手権大会					
女子200mカヤックフォア		1位	H26.9.15	辻岡 さやか (トヨタカローラ岐阜)	辻岡は他所属の3名とフォアを組んで、41秒533で見事優勝を果たした。 (石川県小松市:木場潟カヌー競技場)
女子500mカヤックフォア		3位	H26.9.14	柘植 み奈 (武庫川女子大1年)	柘植は同大学の3名とフォアを組んで、1分47秒294で3位となった。 (同上)
第35回回杯ジュニアフェンシング選手権大会 男子フルーレ		3位	H26.9.15	鈴村 健太 (大垣南高1年)	鈴村は予選プールから決勝トーナメント準々決勝までを勝ち上がったが、準決勝で惜しくも敗れ3位となった。 (京都府乙訓郡:大山崎町体育館)
第6回世界柔道形選手権大会 固の形		1位	H26.9.21	中山 智史(中山接骨院) 林 聖治(三橋接骨院)	中山(取)と林(受)は26組が参加した予選、決勝を勝ち上がり、見事3連覇を達成した。 (スペイン/マラガ)
第54回実業団・学生対抗陸上競技大会					
女子400mH		1位	H26.9.21	青木 沙弥佳 (東邦銀行)	青木は400mHを57秒52で制し、実業団チームの400m走者として出場したりレーと合わせて2冠を達成した。 (神奈川県小田原市:小田原市城山陸上競技場)
女子100m+200m+300m+400mR		1位	H26.9.21		
女子三段跳		2位	H26.9.21	吉田 麻佑(岐阜高教員)	吉田は1位と9cm差の12m96を記録し、2位となった。(同上)
男子走幅跳		2位	H26.9.21	松原 瑞貴(岐阜経済大4年)	松原は1位と35cm差の7m65を記録し、2位となった。(同上)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会 男子60～64歳クラス三段跳		2位	H26.9.23	澤田 久雄 (各務原市)	澤田は10m44を記録し2位となり、日本人最高成績で兼ねて開催された全日本大会の優勝を収めた。 (岩手県北上市:北上総合運動公園北上陸上競技場)
第17回アジア競技大会					
自転車	男子オムニアム	1位	H26.9.23	橋本 英也 (鹿屋体育大3年)	橋本はオムニアムの最終種目で逆転して見事優勝、団体追い抜きの3位と合わせて2つのメダルを獲得した。 (韓国/仁川)
	男子4000m団体追い抜き	3位	H26.9.21		
ボウリング	男子ダブルス	1位	H26.9.25	高橋 俊彦 (岐阜県体育協会)	高橋は政時と組んで、合計2533点で見事同種目20年ぶりとなる優勝を果たした。 (同上)
	男子トリオ戦	1位	H26.9.28	安里 秀策 (朝日大)	安里は佐々木、和田と組んで、合計3881点で見事同種目20年ぶりとなる優勝を果たした。 (同上)
水泳(競泳)	女子200m平泳ぎ	2位	H26.9.22	金藤 理絵 (ぎふ瑞穂スポーツガーデン)	金藤は大会新記録で優勝した渡部を後半に追いついたが、0秒10差で惜しくも敗れ2位となった。 (同上)
ボート	女子軽量級ダブルスカル	2位	H26.9.25	若井 江利 (ミキハウス)	若井は末広と組んで、予選で先着されたタイをラストスパートで追い抜き、7分26秒15で2位となった。 (同上)
フェンシング	女子エペ団体	3位	H26.9.25	大橋 里衣 (岐阜クラブ)	大橋は下大川、山田と組んで勝ち上がったが、準決勝で地元韓国に25-45で敗れ3位となった。 (同上)
競泳ワールドカップ2014第3戦 香港大会					
水泳(競泳)	女子200m平泳ぎ	1位	H26.9.30	金藤 理絵 (ぎふ瑞穂スポーツガーデン)	金藤は200mを2分19秒55で見事優勝し、100m(1分06秒42)と50m(31秒11)は2位となった。 (香港/銅鑼湾)
	女子100m平泳ぎ	2位	H26.9.29		
	女子50m平泳ぎ	2位	H26.9.30		